



下水道の最新情報をお届けします！

発行日：2012. 9. 10

下水道機構の『新技術情報』 第59号

(財) 下水道新技術推進機構 <http://www.jiwet.or.jp/>



本日、9月10日は「下水道の日」ですね。今週は、下水道にちなんだイベントが各地で開催されるようです。我が家では、メタボな大黒柱のために某計量器メーカーの社員食堂レシピを実践しています。油は最小限に、ダシを効かせて美味しく満腹感を味わいながらダイエットをすることができます。おかげでスーツを新調するほどに！皆さんも今日から下水道にも体にも優しいヘルシーな食事を楽しまませんか！

さて、今週も機構メールマガジン『新技術情報』第59号をお届けします。

業務に、Tea Break にどうぞご活用ください。

■□■□トピックス■□■□■

★インフォメーション

・7月に発刊した下水道機構パンフレット「新技術の橋わたし～研究内容と実績～」、機関誌夏号をホームページへ掲載しました

・【ホームページ専用サイト登録者の皆さまへ】

下水道展'12 神戸展示資料、6月開催の技術サロン配付資料、H23年11月開催の新技術セミナー配布資料を掲載しました

★機構の動き

・今週は、9月13日(木)に技術サロンが開催されます。ゲスト：国土交通省水管理・国土保全局下水道部流域管理官付流域下水道計画調整官 那須 基氏、テーマ：流域におけるリスク管理と水環境マネジメントの最近の動向

★Tea Break

・俳句の会に入会して（俳号：清音さんからの投稿です）

★【新コーナー♪】まる子のゆいまーる

・今週は、当機構の資源循環研究部 石田部長より海外出張レポート【JICA 下水道ワークショップ@スリランカ・コロンボ市】をお届けします

★国からの情報

・9月6日付及び9月7日付号外、下水道ホットインフォメーション

.....
インフォメーション（最新の話です）
.....

●7月に発刊した下水道機構パンフレット「新技術の橋わたし～研究内容と実績～」、機関誌夏号をホームページへ掲載しました。

◇「新技術の橋わたし～研究内容と実績～」は、昨年度の調査・研究等実績を反映させたほか、主な研究成果について概要を掲載し内容を充実させるなど、リ

ニューアルしました。こちらから→ <http://www.jiwet.jp/result/annual3/index.htm>

◇機関誌夏号では、特集「東日本大震災の復興に向けて」で当機構の地震関連の取り組み等をご紹介します。また、機関誌春号（3月）もホームページへ掲載していますので、あわせてご覧下さい。

こちらから→ <http://www.jiwet.jp/quarterly/>

●【ホームページ専用サイト登録者の皆さまへ】

専用サイトへ下水道展'12 神戸展示資料、6月開催の技術サロン配付資料、H23年11月 開催の新技术セミナー配布資料を掲載しました

ログインは、公共団体等の方はこちら→ <https://www.jiwet.jp/members/gov/>

出捐団体等の方はこちら→ <https://www.jiwet.jp/members/support/>

機構の動き （機構の行事予定です）

●第307回 技術サロン

日時：平成24年9月13日(木) 17:00～18:00、場所：機構8階会議室

ゲスト：国土交通省水管理・国土保全局下水道部

流域管理官付流域下水道計画調整官 那須 基氏

テーマ：流域におけるリスク管理と水環境マネジメントの最近の動向

※参加お申し込みはこちら→ <http://www.jiwet.jp/school/school-07-307.htm>

●下水道機構設立記念日

平成24年9月28日(金) （機構はお休みとなります）

※おかげさまで、設立満20年を迎えます。

Tea Break （機構職員の感じるまま）

●俳句の会に入会して（俳号：清音さんからの投稿です）

最近、俳句を始めました。俳句を始めて改めて分かったことは、私は、東京で生まれ、東京で育ち、東京で働いているため、これまで自然と接する機会があまりなかったということです。俳句の会に2回出させていただきましたが、その際、諸先輩方が短い時間の中で大変よい俳句を作るのを見させていただき、そのことを非常に感じています。諸先輩の俳句の中には、NHKの「小さなたび」の中に出てくるような風景が目には浮かぶものがあり感心させられます。今後は、仕事や酒だけでなく休日や通勤の際に、風や雲、植物の変化など自然を感じる感性を磨いていきたいと思っています。できれば妻と一緒に。

まる子のゆいまーる（皆様との交流の場です♪）

●今週は、当機構の資源循環研究部 石田部長より海外出張

【JICA 下水道ワークショップ@スリランカ・コロンボ市】レポートをお届けします

●下水道の日にあわせて新聞意見広告を掲載します【日本下水道施設業協会】

●第17回「下水道循環のみち研究会」セミナーを開催します

【日本下水道施設業協会】

=====

○BS・TBS で水ビジネスに関する番組が放送されます【下水道企画課】

・日 時：9月9日（日）21:00～21:54

・放送局：BS・TBS

・番組名：NEWS21「サンデースコープ経済版」

この中の「未来ビジョン」という特集の中で放送されます。番組では、水ビジネスに関する各事業者（国、地方公共団体、企業等）の現在の取組等を取り上げた上で、現在の課題や将来の展望について放送し、最後にコメンテーターが意見を述べるというスタイルになるそうです。

この番組に関連して、北九州市長がインタビューに答えているほか、国土交通省では加藤下水道事業調整官もインタビューに答えています。

●相馬市下水処理場の復旧について

～津波による下水処理場一帯の冠水被害からの復旧～【日本下水道事業団】

日本下水道事業団では、相馬市の委託を受けて、相馬市下水処理場の復旧に取り組んできたところです。平成23年11月末には、先に復旧工事の完了した水処理施設が運転を開始しており、平成24年7月末には、汚泥処理設備や場内整備を含む全ての復旧工事が完了しましたのでご報告します。

詳細につきましては、ホームページをご覧ください。

<http://www.jswa.go.jp/kisya/h24pdf/240831kisya.pdf>

●下水道の日にあわせて新聞意見広告を掲載します【日本下水道施設業協会】

9月9日（日）に（9月10日下水道デーは新聞休刊日のため）、下水道の大切さを訴える意見広告記事を、朝日新聞朝刊（全国版）に掲載します。これは、施設業協会に加盟する会員企業13社が協力して実施するもので、紙面は今年6月に発足した「GKP」（下水道広報プラットフォーム）の協力を得て作成されました。紙面別刷りの利用などを希望される方は、所要枚数を協会事務局までご連絡いただければお送りいたします。

（日本下水道施設業協会 電話03-3552-0991）

●第17回「下水道循環のみち研究会」セミナーを開催します

【日本下水道施設業協会】

第17回セミナーには、京都大学から田中宏明教授を講師にお招きし、今後下水道整備の必要性が高まる東アジア地域における国際展開についてお話を伺います。田中先生は、GCUSの顧問として海外プロジェクトの形成や、京都大学・精華大学共同研究センターの運営の中心として下水道の海外展開に係わってこられました。発展する東アジアの水事情について最新の状況をお聞きし、下水道循環のみちを推進するための意見交換の場としたいと思います。

・テーマ：「大学からみた東アジアにおける下水道国際展開の展望」



○平成 25 年度国土交通省関係予算概算要求概要について

本日、平成 25 年度国土交通省関係予算概算要求概要について公表されましたのでお知らせします。

http://www.mlit.go.jp/page/kanbo05_hy_000324.html

下水道事業関係予算については、上記のホームページの組織別予算概算要求概要のうち、「水管理・国土保全局」のファイルをご覧ください。なお、概算要求のポイント

等については、来週号でご紹介する予定です。

以下、本日の概算要求の発表に際しての国土交通大臣のご発言を引用します。

http://www.mlit.go.jp/page/kanbo01_hy_002245.html

「今回の概算要求においては、一般会計予算の総額で、対前年度比 1.04 倍の 4 兆 7,410 億円、さらに全国防災を含む東日本大震災からの復興対策に係る経費として、8,754 億円を要求することと致しました。

また、財政投融资は、対前年度比 1.04 倍の 3 兆 3,733 億円を要求いたします。

公共事業予算については、近年削減が続き、平成 21 年度と比較しますと、平成 24 年度予算で 2.5 兆円の削減がなされている状況であります。

こうした中、「日本再生戦略」等の推進に向け、選択と集中を行いつつ、重点要求等を最大限活用し、真に必要な公共事業予算が確実に確保されるよう、対前年度比 1.05 倍の 4 兆 1,343 億円の要求を行います。

なお、全国防災関係費を含めた場合、公共事業関係費は、対前年度比 1.06 倍の 4 兆 4,244 億円の要求となります。

国土交通省では、これまで公共事業費が大幅に削減される中で、様々な改革に率先して取り組んでまいりました。

具体的には、「持続可能で活力ある国土・地域づくり」及び「社会資本整備重点計画」を踏まえ、選択と集中を更に加速させるとともに、ハード・ソフトの両面から総合力を発揮して経済活性化等を図ることとしています。

「持続可能で活力ある国土・地域づくり」に掲げた施策のほとんどは、「日本再生戦略」にも盛り込まれており、このたびの概算要求は、これらに基づいて、東日本大震災からの復興、防災・減災対策の強化に全力で取り組むと同時に、デフレ脱却と経済活性化に向けて成長戦略を推進していくため、既存予算の抜本的な見直し・組み替えを積極的に行ったものであり、その意味で今回の概算要求はこれまでの改革の取組を総括するものと考えております。

当該予算を通じて、子ども達や孫達の時代に誇れる国土づくりを推進してまいりたいと考えております。」

～ 以上、国からの下水道ホットインフォメーションより～



発行元：財団法人 下水道新技術推進機構 企画部

〒162-0811 東京都新宿区水道町3番1号 水道町ビル 7F

TEL 03-5228-6511(代表) FAX 03-5228-6512

ホームページ：<http://www.jiwet.or.jp/>

○お伝えしたい情報をお持ちの方はこちらから→ jiwet@jiwet.or.jp

○メルマガ配信登録についてのお問い合わせはこちらから→ jiwet@jiwet.or.jp

○ニューズレターはこちらから → <http://www.jiwet.jp/newsletter/20120229/>

○コラムの正解はこちらから

→ <http://www.jiwet.jp/newsletter/20120229/seikai2.pdf>

